

## シリーズパソコン周辺機器 ①⑥

## 「デジタルカメラ②」

宮杉 浩

前回に引き続いて今回もデジタルカメラのお話です。今回は最近ユーザーが拡大しているデジタル一眼レフカメラについてです。

デジタル一眼レフカメラはその名の通りデジタル処理で写真を撮る一眼レフ方式のカメラで、昔から馴染みのあるカメラのフォームをしています。前回お話ししたコンパクトデジタルカメラとの違いとしては（１）レンズが大きいので光を取り込みやすく、色調が優れていること、（２）レンズ交換ができるので、望遠、広角、接写、魚眼など様々な撮影が可能であること、（３）ボケの具合、シャッタースピードなど細かい調整がコンパクトより遙かに行えること、などが挙げられます。難点としては（１）大型で重く、持ち運びが不便なこと、（２）コンパクトほどお手軽な価格では無く、交換レンズも高額であること、（３）本格的に使用するにはカメラの知識が必要であること、などです。

ただ近年はコンパクトと一眼レフがそれぞれの特徴を融合するが如く、性能差を歩み寄せています。コンパクトは望遠距離を伸ばしたり、撮影モードの充実を図ったりしていますし、一眼レフは小型化・軽量化が進み、価格も10万円前後でかなり高性能な機種が出てきています。またコンパクト最大の特徴であるライブビュー機能と呼ばれる本体につけられたディスプレイで撮影できる機能を備えた一眼レフも増えてきました。コンパクトのユーザー拡大に大きく貢献したライブビュー機能が搭載された事と、小型化・軽量化の進行が特に女性のユーザーの拡大に繋がっています。今後も両タイプのメリットを互いに取り込んでいくような技術開発が進んでいくことと思われます。

そうは言いましてもやはり、デジタル一眼レフカメラにはコンパクトデジタルカメラには無い魅力がたくさんあります。ライブビュー機能は便利ですが、細かいピントやボケの確認は難しく、何よりファインダーを覗いて「写真を撮る」という感覚はライブビュー画面では味わうことができません。そして、露出、絞り、シャッタースピードなどカメラの知識を少しずつでも身に付けていけば、より多彩で自分の思い通りの写真を撮ることもできます。ただ、コンパクトより遙かに精密機器ですので、ホコリやカビなどにかかなりの神経を使うこととなります。レンズを交換する際に、撮影素子と呼ばれる撮影にかかなり重要な部分にゴミがついてしまう事があるので、そうなるとメンテナンスが大変です。お手軽になってきているとはいえ、メンテナンスすることの重要性はしっかり認識しておいていただきたいと思います。

コンパクトデジタルカメラとデジタル一眼レフカメラ、垣根はどんどん低くなってきているとはいえ、それぞれの特徴は変わることはありません。デジタルカメラに関心のある方は自分のライフスタイルにあったカメラを選んで、是非撮影の楽しさに触れていただければと思います。

みやすぎ ひろし（係長補佐・管理運営課）